

保護者等向け 児童発達支援自己評価表 子ども発達支援センター桃っこ

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善項目、工夫している点など
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	○			砂場、プールから山まであり、自由に遊ぶことが出来る
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか		○		分からないので評価できません
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		少しの段差等は頭と身体を使うので欠点ばかりではないと思っています
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ¹ が作成されているか	○			普段から子どもの様子をよくみてくれ、それをもとに作成してくれています
	⑤	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの『児童発達支援の提供すべき支援』の『発達支援』、『家族支援』、『地域支援』で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか		○		地域支援までは至っていないです
	⑥	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			計画はもちろん、その時々の問題点などに沿った支援を受けています
	⑦	活動プログラム ² が固定化しないよう工夫されているか	○			その時の『子どもの意欲、やりたいこと』が活動プログラムになっています
	⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			併設の保育園の子どもと一緒に遊んだり、給食を食べたりして、関わる機会はあります
	⑨	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	○			入った時に説明を受け、また、分からない時にその都度説明してもらっています
保護者への説明等	⑩	児童発達支援ガイドラインの『児童発達支援の提供すべき支援』のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された『児童発達支援計画』を示しながら、支援内容の説明がなされたか	○			
	⑪	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング ³ 等)が行われているか	○			
	⑫	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	○			日頃から子どもをよくみてもらっているので、発達の状況はかなり理解してもらっています
	⑬	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	○			面談があり、心配事等あればその都度相談にのってもらっています
	⑭	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		○		月に一度、保護者同士の茶話会があります
	⑮	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	○			相談を申し出るとすぐに対応してくれ、そこでなされた対応策については、すぐに全スタッフに周知され、対応してくれています

	⑯	子どもや保護者との意志の疎通や情報伝達のための配置がなされているか	○			
	⑰	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果が子どもや保護者に対して発信されているか	○			随時行事予定、活動概要等が載ったお便りももらっています
	⑱	個人情報の取扱いに十分注意されているか	○			
非常時等の対応	⑲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルなどを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	○			避難訓練は定期的に行われているし、流行している感染症等があれば、連絡ももらっています
	⑳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか	○			避難訓練が定期的に行われています
満足度	㉑	子どもは通所を楽しみにしているか	○			のびのびと楽しんでいると思います
	㉒	事業所の支援に満足しているか	○			子どもがいかに成長するかには十分な配慮と支援、対策をしてくれています

- i 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理者が作成する。
- ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。
- iii 保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とする。